



人権とハンセン病問題について考える

～ 漫画「麦ばあの島」から学ぶハンセン病問題について～

現実で起きたハンセン病問題(=人権侵害)をご存知ですか？

ハンセン病患者やその家族の生活、被差別体験などを描いた漫画『麦ばあの島』。物語は、ハンセン病を理由に、家族と引き離され療養所に強制隔離された主人公・麦の若い頃の体験を軸に展開されています。

療養所では、本当の名前を名乗れない、結婚しても子どもをもつことができない。死んだ後も故郷の墓に入れてもらえない…。これらは、すべて現実で起きた史実です。『麦ばあの島』の作者・古林海月氏と漫画をたどりながら、人権とハンセン病問題について考えます。



講師:古林 海月 氏(漫画家)

鹿児島県生まれ。元兵庫県職員。職員時代に仕事でハンセン病療養所を訪問。退職後も、療養所の入所者や退所者との交流を重ねる。職員時代のある出来事から、邑久光明園と外島保養院

を舞台に、ハンセン病問題の史実をもとにしたフィクション漫画『麦ばあの島』を執筆。ハンセン病回復者や療養所の医者など関係者に取材を重ね、12年の歳月をかけて漫画を完成させた。

12
21

午後2時
▼
午後4時

火

中央北生涯学習プラザ
(梅プラザ) 尼崎市東難波町2丁目14-1
☎ 06-6482-1760 ☎ 06-6489-9300

当日受付 先着50名
(申込不要)

同時開催
パネル展

12/1・12/17
市役所市民課前
12/18・12/23
梅プラザ



問い合わせ先

尼崎市役所ダイバーシティ推進課
☎ 06-6489-6658 ☎ 06-6489-6661

尼崎市 人権週間

主催:尼崎市 共催:ハンセン病問題を考える尼崎市民の会